

計画策定にあたって

湯浅町は、海、山、川に囲まれた自然豊かなまちであるとともに、古くから聖地熊野を目指す人々の宿所として栄えてきました。

また、世界中で愛される万能調味料「醤油」発祥の地としても知られており、その醸造業が最も盛んであった一帯が、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

本町は、伝統的な町並み以外にも、素晴らしい歴史文化を有しており、例えば、京都高尾山神護寺の文覚上人に学び、梅尾山高山寺を開いた明恵上人は、湯浅で厳しい修行の末、悟りを開いたとされています。ほかにも醍醐寺金堂が、もともとは本町にあり、豊臣秀吉によって移築され、国宝、世界遺産となって現在まで受け継がれていることや、江戸時代、聖護院門跡一行が大峰奥駈修行の帰路、本町で護摩法要を行い、休憩し、もてなしを受けたという記録が残されており、近年、その故事に基づいて護摩法要を再開したことなど、ここ湯浅の地に、当時、質の高い文化が存在したことを証明する事柄がたくさんあります。

本計画の推進により、歴史的風致の維持・向上はもちろんのこと、ふるさと湯浅を愛する心を育むことや住民同士の交流、ひいては地域活性化につながることをできればと考えています。

本町が持つ歴史的な魅力を余すことなく発信し、一人でも多くの方に知っていただくことにつながれば幸いです。

最後に、本計画の策定にあたりまして、ご尽力をいただきました湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会委員の皆様をはじめ、貴重な資料やご意見をお寄せいただいた皆様に深く感謝を申し上げます。



平成28年3月

湯浅町長

上山章善